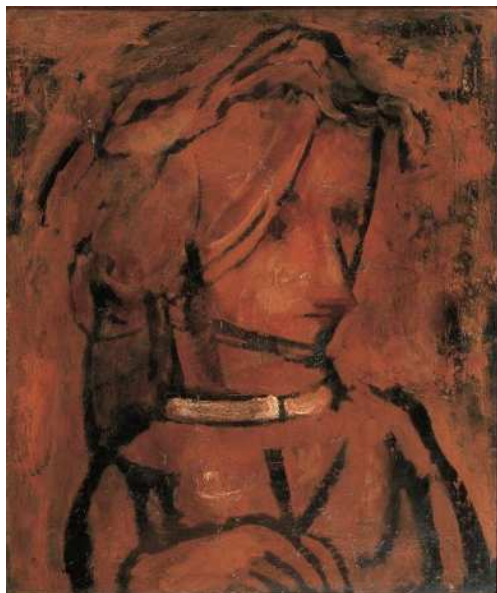


生誕110年 松本竣介

MATSUMOTO Shunsuke: On the 110th Anniversary of His Birth

2022年4月29日(金・祝) - 5月29日(日)



明治の末年に生まれ、日中戦争から太平洋戦争へと続く過酷な時代を画家として生きた松本竣介。西欧の古典絵画に影響を受けながらも新時代の絵画を求め、20年ほどの短い画歴のなかで多彩な展開を見せました。生誕110年を記念して開催する本展では、二科展初入選となった初期の黒い輪郭線による《建物》から、独自の静謐な都市風景の《橋(東京駅裏)》、代表作《立てる像》をはじめ、戦後、赤褐色の地色に粗い筆致で描いた《少女》まで、昭和前期の日本近代洋画壇に重要な足跡を遺し、時代を越えていまなお多くの人を魅了する松本竣介の油彩、素描25点と彼が手がけた雑誌『雑記帳』の関連作家による挿画原画を当館のコレクションから厳選して紹介します。

M1

展覧会の見どころ

1. 短い生涯において試行錯誤を繰り返し、多様な展開を見せた松本竣介の画業の変遷をたどりつつ、雑誌『雑記帳』編集者としての側面も紹介します。
2. 靄光、福沢一郎、長谷川利行、難波田龍起、金煥基、三岸節子、寺田政明、鳥海青児、恩地孝四郎、里見勝蔵ら、『雑記帳』創刊号から最終号までの14冊に掲載された31作家による31点の挿画原画を展示します。
3. 松本竣介が街歩きの際につねに携えていたという小さな『スケッチ帖』。戦前から戦後の都市を記録したその貴重なスケッチをデジタル映像で公開します。

松本竣介(まつもと・しゅんすけ) 略歴

1912(明治45)年、佐藤俊介として東京に生まれる。少年時代を岩手で過ごし、13歳の時に病のため聴覚を失う。兄から油絵道具一式を買ってもらったのを機に絵を描き始め、画家を志して1929(昭和4)年に上京し太平洋画会研究所選科に通う。1935年、二科展に初入選。翌年、松本禎子と結婚して松本姓となり、また自宅を「綜合工房」と名づけ、禎子と共に雑誌『雑記帳』を創刊。1940年、初の個展を開催。1943年、麻生三郎、寺田政明、靄光、鶴岡政男、井上長三郎、大野五郎、糸園和三郎と新人画会を結成。1948年、気管支喘息による心臓衰弱のため36歳で没。1958年、神奈川県立近代美術館で公立美術館初の「松本竣介・島崎鴉二」展を開催。

新型コロナウイルス感染防止のためのお願い

- 発熱や体調不良がある方は、ご来館をお控えください。
- 入館時に手指を消毒し、マスク着用してください(着用が推奨されない乳幼児や障害者へはご配慮をお願いします)。
- 混雑状況により、入場制限を行う場合があります。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

広報担当: 八木 「生誕110年 松本竣介」展覧会担当: 長門 「小企画 堀江 栞」展覧会担当: 朝木

Tel: 0467-22-5000 Fax: 0467-23-2464 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

【小企画】堀江 菜 — 触れえないものたちへ

[associated exhibition] HORIE Shiori: Toward the Unreachable

2022年4月29日(金・祝) – 5月29日(日)



H1

「心から好きなものを描き、その芯を確かな形として表したい」。1992年に生まれ、日本画の道に進んだ堀江菜は、そうした思いから動物や石、人形などの対象と向き合い、岩絵具特有の質感で描いてきました。24歳の時、フランスで暮らした経験から、人物画にも取り組み始めます。堀江によって描かれる人びとは、どこか寄る辺ない孤独にありながら、こちらに確かな眼差しを送り続けています。

「触れえないものたちへ」というタイトルには、こうした存在の内奥をめぐる作家の思索が込められています。自らの傍らにある他の存在。目には見えない個々の声に耳を澄ませるその姿勢は、彼女が幼い頃から私淑してきた松本竣介との対話に繋がっているのかもしれません。本展では、初期から近作〈後ろ手の未来〉(2019-2021)を含む約30点を展覧し、次代を担う画家、堀江の創作の魅力を探ります。

展覧会の見どころ

1. 「松本竣介」展にあわせて、近年注目を浴びている若手作家・堀江菜の作品を、初期から最新作まで展覧します。
2. 動物や石、人といった対象に真摯に向き合い、岩絵具の粒子ひとつひとつを重ねて描いた本画約30点に加え、独自のアプローチによるドローイングも紹介します。

堀江 菜 (ほりえ・しおり) 略歴

1992(平成4)年、フランス生まれ。2014年、多摩美術大学美術学部絵画学科日本画専攻卒業。同年、加島美術(東京)にて初個展。2015年、第6回東山魁夷記念日経日本画大賞展入選。同年、第26回五島記念文化賞を受賞し、2016年、奨学生として一年間、パリで制作を行う。2020年、第6回世田谷区芸術アワード「飛翔」を受賞し、2021年、受賞記念個展「後ろ手の未来」を開催(世田谷美術館 区民ギャラリー)。同年、五島記念文化賞研修帰国記念個展「声よりも近い位置」を開催(√K Contemporary、加島美術)。第32回タカシマヤ美術賞受賞。本年3月、「VOCA展2022」にVOCA佳作賞受賞作《後ろ手の未来》(2021)を出品(上野の森美術館)。画集『堀江菜 声よりも近い位置』を刊行(小学館)。

開催概要

生誕110年 松本竣介 MATSUMOTO Shunsuke: On the 110th Anniversary of His Birth

【小企画】堀江 菜 — 触れえないものたちへ [associated exhibition] HORIE Shiori: Toward the Unreachable

会 期：2022年4月29日(金・祝) – 5月29日(日)

会 場：神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

開館時間：午前9時30分–午後5時(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日

主 催：神奈川県立近代美術館

観 覧 料：一般700円／20歳未満・学生550円／65歳以上350円／高校生100円

*中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(および介助者原則1名)は無料です。

*ファミリー・コミュニケーションの日(毎月第1日曜日:5月1日)は、18歳未満のお子様連れのご家族は、割引料金(65歳以上の方を除く)でご覧いただけます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同日の会話を楽しむ日「オープン・コミュニケーション・デー」は中止します。

*その他の割引につきましてはお問い合わせください。

*最新情報とご来館に際してのお願いは美術館ウェブサイトかお電話でご確認ください。

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

広報担当: 八木 「生誕110年 松本竣介」展覧会担当: 長門 「小企画 堀江 菜」展覧会担当: 朝木

Tel: 0467-22-5000 Fax: 0467-23-2464 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

広報用画像データ一覧 【生誕110年 松本竣介】

展覧会広報用として、画像データをご用意しております。ご希望の場合は、メールにてお申し込みください。
その際、次の必要事項の明記をお願いいたします。

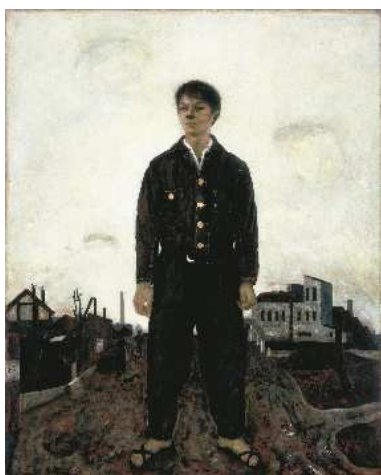
展覧会名／希望画像のアルファベット／社(団体)名／媒体名／掲載予定日／担当者名／連絡先



M2



M3



M4



M5



M6



M7



M8



M9

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

広報担当: 八木 「生誕110年 松本竣介」展覧会担当: 長門 「小企画 堀江 菜」展覧会担当: 朝木

Tel: 0467-22-5000 Fax: 0467-23-2464 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>

広報用画像データ一覧 【小企画 堀江 栞】

展覧会広報用として、画像データをご用意しております。ご希望の場合は、メールにてお申し込みください。
その際、次の必要事項の明記をお願いいたします。

展覧会名／希望画像のアルファベット／社(団体)名／媒体名／掲載予定日／担当者名／連絡先



H2



H3



H4



H5



H6



H7

画像キャプション【生誕110年 松本竣介】

*すべて神奈川県立近代美術館蔵

- M1 松本竣介《少女》1947年 油彩、板
- M2 松本竣介《建物》1935年 板に油彩、紙
- M3 松本竣介《橋(東京駅裏)》1941年 油彩、カンヴァス
- M4 松本竣介《立てる像》1942年 油彩、カンヴァス
- M5 松本竣介《R夫人像》1941年 油彩、板
- M6 松本竣介《立ち話》1937年 油彩、カンヴァス
- M7 松本竣介《Y市の橋》1943年 鉛筆、墨、紙
- M8 松本竣介《工場》1942年 油彩、板
- M9 『雑記帳』14号(最終号) 綜合工房 1937年12月

画像キャプション【小企画 堀江 栞】

*H4は個人蔵、その他は作家蔵

- H1 堀江 栞《後ろ手の未来#4》2021年 岩絵具、膠、和紙
- H2 堀江 栞《後ろ手の未来#4》(部分)2021年 岩絵具、膠、和紙
- H3 堀江 栞《後ろ手の未来》2019年 岩絵具、膠、和紙
- H4 堀江 栞《黙禱III》2020年 岩絵具、膠、和紙
- H5 堀江 栞《“包まれた時間”より》2017年 岩絵具、膠、和紙
- H6 堀江 栞《輪郭#17》2020年 岩絵具、膠、和紙
- H7 堀江 栞《凜然》2010年 岩絵具、膠、和紙

【お問合せ】 神奈川県立近代美術館 鎌倉別館

広報担当: 八木 「生誕110年 松本竣介」展覧会担当: 長門 「小企画 堀江 栞」展覧会担当: 朝木

Tel: 0467-22-5000 Fax: 0467-23-2464 E-mail: info.kinbi.474@pref.kanagawa.lg.jp

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-8-1 <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>